刺繍で繋げる笑顔の輪

情報システム

研究動機

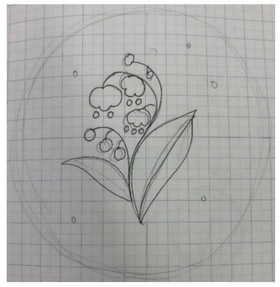
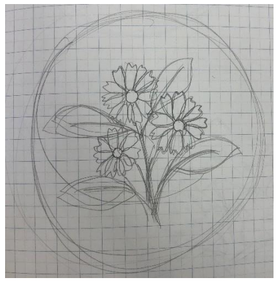
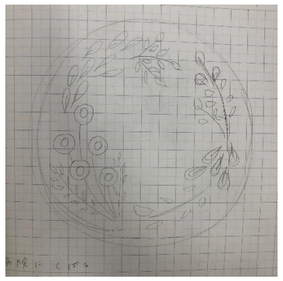
休校中に刺繍を始めました。この刺繍がきっかけで誰かの心を癒すことができたり、笑顔になったりしてほしい思いがありました。また刺繍で感謝の思いを伝えたいと思い刺繍を課題研究ですることを決めました。

研究概要

1．デザイン決め
2．製作
3．町家オイデナーレ出展
4．病院に渡す

研究内容

1. デザイン決め、下書き

現在新型コロナウイルスによって医療関係者や患者の方は大変な思いをしているので、病院に渡すことに決めました。

失われた日常が取り戻せるように、皆さんの願いが叶うようにという思いを込めて花言葉を決めました。

すずらんは『希望』、　青いバラは『夢かなう』という意味があるのでこの二つの花にしました。

2．刺繍をする

3．町家オイデナーレ出展

工夫した点

優しい色合いにし、なるべく自然にある色に近い刺繍糸を使用しました。立体感を出すために色を変えたり、グラデーションにしました。統一感を出すために似た系統の色を使用しました。

4．病院に渡す。

新型コロナウイルスの関係で、まだ病院に渡せていないので渡したいです。

まとめ

自分のできることで、感謝の気持ちが伝えれたことがうれしかったです。

刺繍はこれからも続けたいし、自分には何ができるのかを考え行動し、常に感謝の気持ちをもって生活したいです。

２０番　末松　千佳